

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年06月22日

計画の名称	弘前市の下水道における防災・安全対策の実現												
計画の期間	平成28年度～令和02年度(5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	弘前市												
計画の目標	老朽化した管渠及び処理場・ポンプ場の機械・電気・建築設備の長寿命化(長寿命化対策・更新)を行い、効率的な下水道施設の管理運営を図るとともに、弘前市における継続的な水質保全の確保と安全・安心・快適な暮らしを実現する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	949	A	949	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (R2末)
1	弘前市下水処理場の改築更新達成率0%(H28当初)から100%(R2末)に増加させる。 下水道ストックマネジメント計画に基づく改築更新の達成率 改築更新済みの設置個数(個)/改築更新をすべき設置個数(個)	0%	100%	100%
2	桜ヶ丘中継ポンプ場の改築更新達成率0%(H28当初)から100%(R2末)に増加させる。 下水道ストックマネジメント計画に基づく改築更新の達成率 改築更新済みの設置個数(個)/改築更新をすべき設置個数(個)	0%	100%	100%
3	弘前処理分区の改築更新達成率43%(H28当初)から80%(R2末)に増加させる。 下水道ストックマネジメント計画に基づく改築更新の達成率 改築更新済みの管渠の延長(km)/改築更新をすべき管渠の延長(km)	43%	62%	80%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	-----------------------	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市区町村名/港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	弘前市	直接	弘前市	終末処理場	改築	弘前市下水道処理場長寿命化(A-1)	塩素滅菌棟、放流柵、受電設備	弘前市						28		策定済
		ストックマネジメント																	
	A07-002	下水道	一般	弘前市	直接	弘前市	ポンプ場	改築	桜ヶ丘中継ポンプ場長寿命化(A-2)	ポンプ(2.4m3/分)、機械・電気・建築設備	弘前市						226		策定済
		ストックマネジメント																	
	A07-003	下水道	一般	弘前市	直接	弘前市	-	改築	弘前処理分区長寿命化(A-3)	管渠更生 L=3.3km、人孔蓋更新 N=156箇所、マンホールポンプ改築 N=16箇所 等	弘前市						444		策定済
		ストックマネジメント 種別1:管渠(汚水)、管渠(合流)																	
	A07-004	下水道	一般	弘前市	直接	弘前市	-	-	調査・設計等(A-4)	長寿命化調査・設計等	弘前市						251		策定済
		ストックマネジメント 種別1:終末処理場、ポンプ場、管渠(汚水)、管渠(合流)、管渠(雨水) 種別2:全種																	
											小計						949		
											合計						949		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
弘前市上下水道部において、数値目標の達成状況や事業効果の発現状況について評価を行った。	令和4年6月
	公表の方法 市ホームページで公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	平成28年度から令和2年度の5年間で、桜ヶ丘地区中継ポンプ場の長寿命化が終了し、管渠更生及びマンホールポンプの改築更新についても計画通り進めることができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
本計画の最終目標について達成したが、弘前市ストックマネジメント計画に位置づけられた改築更新対象施設については、今後も計画的に更新を行うものとし、弘前市における継続的な水質保全の確保と安全・安心・快適な暮らしを実現する。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	弘前市下水処理場の改築更新達成率0%（H28当初）から100%（R2末）に増加させる。	
	最終目標値	100%
2	桜ヶ丘中継ポンプ場の改築更新達成率0%（H28当初）から100%（R2末）に増加させる。	
	最終目標値	100%
3	弘前処理分区の改築更新達成率43%（H28当初）から80%（R2末）に増加させる。	
	最終目標値	80%

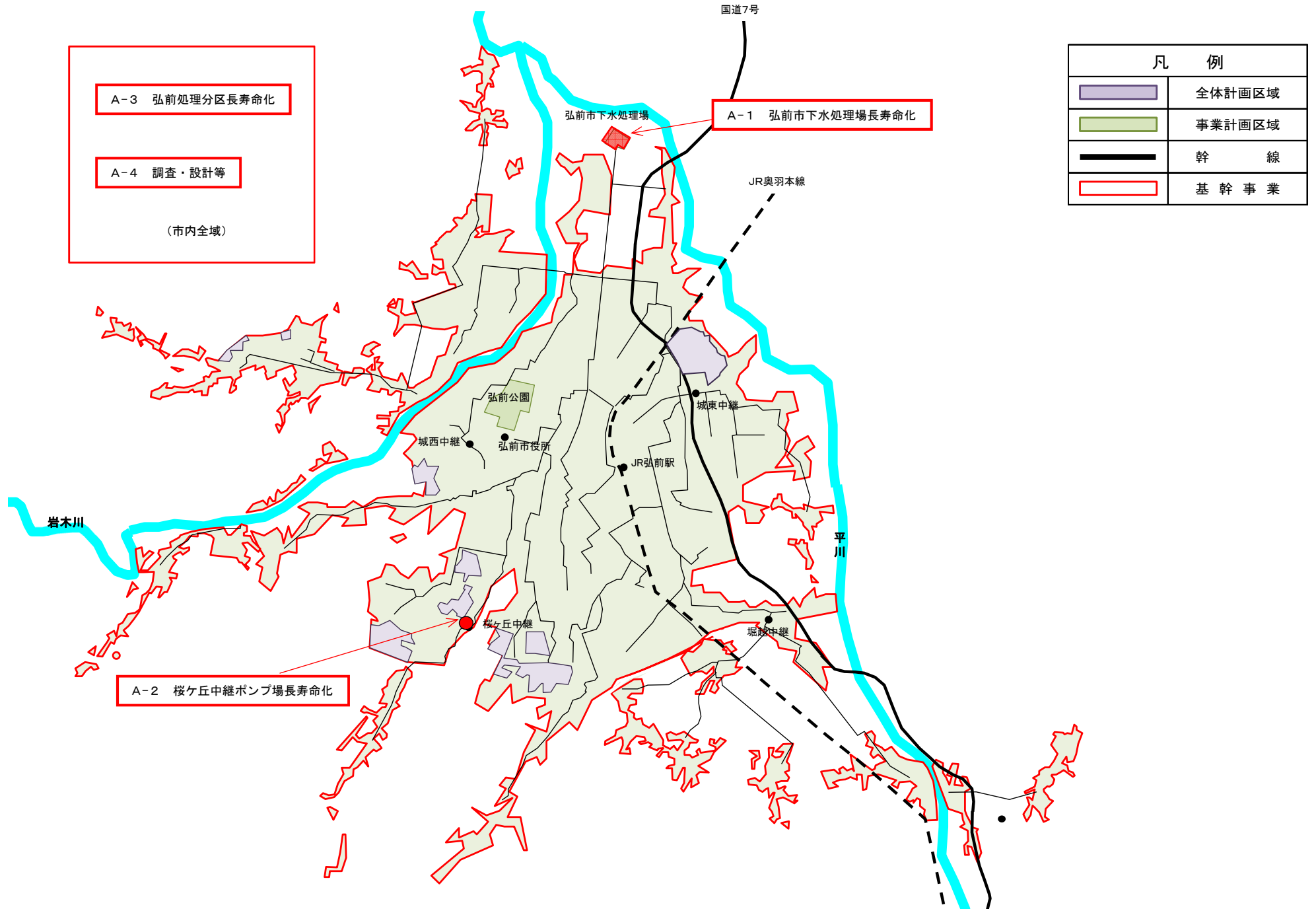
(参考様式3) 参考図面 (防災・安全交付金)

計画の名称 弘前市の下水道における防災・安全対策の実現

計画の期間 平成28年度 ~ 平成32年度 (5年間)

交付対象

弘前市



凡 例

	全体計画区域
	事業計画区域
	幹 線
	基 幹 事 業